

# 櫻だより



氷見市立北部中学校  
校長室から  
令和7年4月7日

## 春風や

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」 高浜虚子

私が大好きな春の句です。

新年度が始まる春、「よし、頑張るぞ」と闘志と緊張感をもって、力強く丘に立っている様子や、昂ぶる春の気持ちを感じられるところが好きな理由です。

毎年、春（新年度）になると、この句が思い出されます。

この句は、高浜虚子が一旦遠ざかっていた俳壇へ復帰するときに詠んだ句ですが、その背景は、「虚子が俳壇にいた頃とは違う作風（五七五調や季語がない自由な句）が広まってきたことから、虚子は伝統的な俳句を守るために闘うことを決意した」とのこと。

背景を知ると、さらに「闘志」の強さが感じられ、凜と立つ姿も思い浮かびます。

さて、明日から新年度が始まります。

新入生はもちろんのこと、進級した2、3年生も「闘志」をいただき、新たな希望や目標をもって登校してきます。

私たち教職員も新年度に向けた「闘志」をいただき、心地よい緊張感をもって生徒を受け入れたいものです。

ただし、「闘志」とは、強い気持ちではあるけれど、折れない強さ、しなやかさをもった強さであってほしいと思います。

年度当初に描いていた計画が崩れることもあるでしょう。

そんな時に、「もうだめだ」と折れるのではなく、「じゃあやり方を変えてみよう」と、しなやかに回復し、新たに挑む強さが本当の強さだと思います。

失敗してもいいじゃないですか。時には、弱音を吐いてもいいじゃないですか。

大切なのは、しなやかに立ち直り、また挑む強い心だと思います。

松岡修造さんが、こんな言葉を言っていました。

みんな！！竹になろうよ。

竹ってさあ台風が来てもしなやかじゃない、台風に負けないんだよ！

雪がきてもね、おもいきりそれを跳ね除けるんだよ！！

竹のようにしなやかな強さをもって、跳ね除けていきたいものです。

中庭の梅も桜も満開、パンジーも咲いています。春爛漫です。

春爛漫の風を受けながら「闘志」を高め、しなやかに明日から頑張っていきましょう。